

第2号様式

令和6年度第2回法務省入札監視委員会審議概要

開催日時及び場所		令和6年11月7日（木）13：30～15：00 法務省共用会議室3（大臣官房施設課旧入札室）	
委員		只 木 誠（大学教授）※委員長 黒 澤 正 明（公益社団法人監事） 遠 藤 和 義（大学教授）	
審議対象期間		令和6年4月1日から令和6年7月31日まで	
抽出案件		総件数 84件	（備考）
工 事	一般競争	57件	
	標準指名競争	0件	
	随意契約	9件	
業 務	簡易公募型プロポーザル方式	0件	
	一般競争	10件	
	簡易公募型競争	0件	
	標準指名競争	0件	
	随意契約	8件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等		意見・質問	回 答
		別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見 具申又は勧告の内容		具申又は勧告	回 答
		なし	なし

別 紙

意 見 ・ 質 問	回 答
1 工事の発注状況について 低入札となった案件が非常に多いように思われるが、どのような要因によるものか。 低入札がある一方で、不調・不落となった案件もある。年間を通じてどのような傾向にあるか、簡単にでも分析できないか。	地方発注案件を含めて詳細な確認を行ったわけではないが、総合評価落札方式を採用していない案件では価格のみの競争となるため、低入札となりやすいことも原因のひとつと思われる。 低入札や不調・不落の傾向について、どのような分析ができるか検討したい。
2 業務の発注状況について 意見等なし	
3 応札者が一者であった契約について 意見等なし	
4 指名停止の運用状況について 意見等なし	
5 工事抽出案件について (1) 令和5年度広島刑務所職員宿舍2号棟改修工事 意見等なし (2) 令和6年度静岡刑務所職員宿舍改修（建築）工事 発注時に想定していた工事概算額と予定価格にかなりの開差がある。工事概算額に基づき設定した等級区分により入札参加者が実際の工事規模を勘違いする原因となった可能性があるのではないか。	改修工事では工事概算額の精度を上げにくい実情がある。設計担当者としては可能な限り精度を上げる努力はしているものの、本件では開差が生じてしまった。
6 業務抽出案件について 令和6年度神奈川少年更生支援センター（仮称）実施設計業務	

意見等なし	
-------	--